

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1233	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	
ナンバリング	LSe401	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本ゼミナールでは、まず観光社会学の概説書の輪読を通じて、観光学がテーマとする対象と分析理論の基礎を学びます。次いで、論文の要約に挑戦して、研究論文の構造を理解します。このように得た知識を基礎にして、自らが関心を持つ観光現象について研究計画書を作成します。そして作成した研究計画書に沿って、資料収集を行い、分析検討して、結論を導き出します。これら一連の作業を全て自らが能動的に行ない、その成果をプレゼンテーション及び研究レポートという形で発表します。

このように観光学の理論と実証を通じて、豊かな知識、柔軟な発想を身につけます。

● 到達目標

- ・ 著者の伝えたいことを正確に把握して、他人へ伝える力。
 - ・ 課題を自ら発見して探求する力。
 - ・ 自分の考えを根拠をもって論理的に説明できる力。
- 観光の現場で実践できる能力の獲得ができます。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：ゼミの進め方、方針。
観光学とは何か？
- 2週目 輪読 「観光社会学」が目指すもの
- 3週目 輪読 「観光の近代」
- 4週目 輪読 「オルタナティブ・ツーリズム」
- 5週目 輪読 観光研究の領域 「エスニック・ツーリズム」
- 6週目 輪読 観光研究の領域 「宗教ツーリズム」
- 7週目 輪読 観光研究の領域 「ホスピタリティ」
- 8週目 輪読 事例研究
- 9週目 論文要約
- 10週目 研究計画書作成
- 11週目 研究発表準備
- 12週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
- 13週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
- 14週目 研究発表 パワーポイントを用いてプレゼンテーション。その後全員で議論する。
- 15週目 研究レポート作成
- 16週目 研究レポート添削と修正。講評と振り返り。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・ 予習
輪読では事前に必ず該当箇所を熟読しておくこと。研究発表ではパワーポイントにて内容をまとめてください（90分程度）。
- ・ 復習
ゼミ生の発表を振り返り、自分自身の考えをノートにまとめる（30分程度）。

● 成績評価の方法・基準

輪読への参加度、論文要約、研究計画書、研究発表、研究レポート、プレゼンテーション、議論への参加度などを評価の対象となります。

● 履修上の留意点

- ・ 遅刻や私語、飲食などの迷惑行為を慎むこと。欠欠は授業の参加度の観点から管理します。改善されない場合は不合格となることがあります。発表については全員で評価します。
- ・ LMS上で資料を配布します。講義ではこれらを事前にプリンアウトして持参するか、スマホやタブレット、ノートパソコンなどを持参して使います。（学内アクセスポイントを使用予定）。

● 課題に対するフィードバックの方法

研究発表については、口頭にてコメント・評価します。
研究計画書と研究レポートについては、評価・添削して返却します。

● テキスト

特になし。

● 参考書

安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編『よくわかる観光社会学』（ミネルヴァ書房）2860円
大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編『観光学ガイドブック』（ナカニシヤ出版）3080円
遠藤英樹・橋本和也・神田孝治編著『現代観光学—ツーリズムから「いま」がみえる』（新曜社）2310円
竹内正人編『入門観光学』（ミネルヴァ書房）3080円

● 更新日付

2025/03/22 09:23